TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

主は王である もっとゆっくり！

ヤコブ 1:19−27

2022 年 10 月 8 日&9 日
余沢 武 牧師

1. 初めに

こんにちは。ご存知の方もおられるように私たちの兄弟である奥間英樹さんが数週間前に亡くなられました。10 月 15 日(土)午後 1 時半からメモリアルサービスを TBC で行います。ご出席される方はどうぞお越し下さい。

ここまで私たちは、「神の知恵」により「信仰」をもって試練に立ち向かう時、それは私たちを「成熟」させてくれると学んできました。それとは逆に「試練」を「自分の欲望」に基づいて対応するなら、それは誘惑となり私たちは罪を犯してしまいます。

また、あらゆる「良い贈り物」、あらゆる「完全な賜物」は神から来るということも学びました。「自分の欲望」や「罪」にとらわれてしまっていたとしても私たちは「真理の言葉」、イエスキリストの福音を通して新しい命を受け取り、そこから助け出されることが出来ます。どのようにでしょうか。今日はそれを見ていきます。まず祈りましょう。

2. もっとゆっくり！

(1) 聞くに速く

ヤコブ 1:19 を見ましょう。そこにはこうあります。「私の愛するきょうだいたち、よくわきまえておきなさい。人は誰でも、聞くに速く、語るに遅く、怒るに遅くあるべきです。」

数週間前に学んだようにヤコブはこの手紙を「貧しい境遇」における試練、また「富んでいる」試練を経験しているクリスチャンに向けて書きました。「経済的な状況」と「社会的地位」の違いによって「貧しい境遇の人」と「富んでいる人」を違うように扱う人たちがいたようです。

それに傷つく人達もいました。馬鹿にされ、不公平に扱われ、見下されたように感じたのです。怒っている人もいました。怒りを表し、やり返したいと感じました。

私たちが似たような試練にあう時、どうしたらいいのでしょう。私たちが傷つき、ばかにされ、不公平に扱われ、軽蔑されたらどうしたらいいのでしょう。ヤコブは 3 つのことを命令しています。

1. 「聞くに速く」 何を聞くのでしょうか。この直前にヤコブは、私たちが「試練」にあう時、「自分の欲望」に基づいて対応するのではなく、「真理の言葉」、「イエスキリストの福音」によって解放され生まれ変わるべきであると言ったばかりですよね。それが私たちが聞かなければならないことなのです。

ではこれは私たちに何を教えているのでしょうか。これが伝えているのは

① 私たちは「自分の欲望」と「罪」で一杯の存在で、私たちは「死」に値するのです。
② 「イエスの十字架上での死」によってのみ私たちは赦されるのです。
③ 「神の聖霊の力」によってのみ私たちは今、神の言葉に従い、正しい生き方をしているのです。

すべてはイエスの力によるのです。何よりも覚えていただきたいのは、私たちの心は悪で汚されて、神のみが善なるお方だということです。ですから、

2. 「語るに遅く」つまり、私たちの舌で口論したり罪を犯さないでください。

3. 「怒るに遅く」苦々しい心を持ち続けないでください。争いを始めないでください。それが口だけででも実際のけんかででもです。

なぜでしょうか？20 節-21 節「人の怒りは神の義を実現しないからです。それゆえ、あらゆる汚れや甚だしい悪を捨て去り、植え付けられた御言葉を謙虚に受け入れなさい。御言葉は、あなたがたの魂を救うことができます。」

- ヤコブはそのような怒りが「汚れ」や「悪」で、私たちはそれを捨て去る必要があると言います。なぜならそれは神が私たちに持ってほしいと思っている「義」を私たちに与えないからです。
- 私たちは「植え付けられた御言葉」、「真理の言葉」つまり「福音が表れている神の御言葉」を謙虚に受け入れる必要があります。それは「私たちの魂を救うことができる」のです。

私たちが思う「やるべき正しいこと」が本当に「やるべき正しいこと」ではないことがあるのです。

例えば男の子が誕生日プレゼントにサッカーボールをもらったとします。それで遊んでみようと思って公園に行ったとします。男の子はすごくワクワクしています。初めて自分のボールをもらったからです。ボールを楽しく蹴っていたら他の男の子が来て「僕もそれで遊んでいい？」と聞きました。

男の子は「だめだよ。これ僕のだから」と言いました。しかしその時お母さんが来て、言いました。「だめよ。一緒にボールで遊びなさい」男の子にとっては自分が言ったことは正しかったのです。でも男の子にとって正しいと思った事はお母さんにとっても正しいことではありませんでした。お母さんが男の子に願っていることは、成長して成熟していってほしいと思っていたからです。

誰かに嫌な気持ちにされる時、ばかにされたと感じる時、不公平に扱われた時、誰かから見下された時、私たちはそれに抗議し、怒ることが正しいと思います。

しかしイエスは「そうしてはいけない」と言います。イエスは次のように言うのです。

1. 「しかし、私は言っておく。悪人に手向かってはならない。誰かがあなたの右の頬を打つなら、左の頬をも向けなさい。」（マタイ 5:39b）
2. 「あなたを訴えて、下着を取ろうとする者には、上着をも与えなさい。」（マタイ 5:40）
3. 「あなたを徴用して一ミリオン行けと命じる者がいれば、一緒に二ミリオン行きなさい。」（マタイ 5:41）
4. 「敵を愛し、迫害する者のために祈りなさい。天におられるあなたがたの父の子となるためである。」（マタイ 5:44b-45a）

私たちにとって正しいと思える事が天の父なる神様にとっても正しいとは限りません。神が私たちに望んでいるのは、神の子供として成長し、人格が成熟することです。ヤコブは言います。「人の怒りは神の義を実現しないからです。」

（2） 御言葉を行う人になりなさい。

ヤコブは次のように続けます。22 節-25 節「御言葉を行う人になりなさい。自分を欺いて、ただ聞くだけの人であってはなりません。御言葉を聞いても行わない者がいれば、その人は、自分の生まれつきの顔を鏡で映して見る人に似ています。自分を映して見ても、そこを立ち去ると、どのようであったかをすぐに忘れてしまうからです。しかし、完全な律法、すなわち自由の律法を一心に見つめて離れずにいる人は、聞いて忘れてしまう人ではなく、行う人になります。このような人は、その行いによって幸いな者となるのです。」

ヤコブは言います。私たちは「御言葉を行う人」になるべきだと。つまり「御言葉を聞くだけのもの」ではなく、福音が表れている「神の御言葉」、「真理の言葉」を行うべきだということです。

- ヤコブは「御言葉を聞くだけの人」は、鏡をじっくり見て汚い物が自分の顔に付いているのに気づいても何もしない人のように「神の御言葉」のことも見る人だと言います。その人は何を見たのかを忘れてただ立ち去るのです。
- しかし「御言葉を行う人」は、ここでヤコブが「完全な律法、すなわち自由の律法」と呼ぶ「神の御言葉」、「真理の言葉」を鏡を見るようにじっくり見ます。立ち去り、忘れてしまう代わりに、熱心にそれを見て、従い、その中で忍耐するのです。

両者とも「神の御言葉」をじっくり見ます。両者とも問題を見付けます。その結果として 1 人は変わり、1 人は変わりません。

このことでケント・ヒューズ牧師の呪術医の話を思い出します。宣教師が小さな鏡を髭剃りのために木にかけていました。地元の呪術医がそれを見付け、じっと見たそうです。彼女は自分のフェイスペイントを施した顔を見て飛びあがり後退りしました。

彼女はすぐに宣教師にこの鏡をくれないかと聞きました。宣教師は断りました。しかし呪術医は諦めません。とうとう宣教師は折れて彼女に鏡をあげました。驚くことに彼女はそれをすぐに地に投げつけてバラバラに壊してしまったのです

彼女は言いました「良かった。もうあんな醜い顔を見たくないわ」

彼女が鏡を見た時、彼女は鏡の中にものすごく嫌なものを見たのです。しかし彼女はそれが自分自身で、本当は変わらなければいけないのは自分であるということがわからなかったのです。

「御言葉を聞くだけの人」はそのような状態なのです。誰かに嫌な思いをさせられ、怒りが湧き上がってくると、鏡である「神の御言葉」をじっと見て、そこにとても間違っている何かを見ます。しかしその人はそれが自分が変わらなければならないという意味だと分からないのです。

しかし「御言葉を行う人」は逆です。誰かに嫌な思いをさせられると、怒りが湧いてきます。その人は「神

の御言葉」をじっと見て、その人もそこにとても間違っている何かを見ます。そしてわかるのです。その人は自分が変わらなければいけないと言うことを理解するのです。

その人は、聞くに速く、語るに遅く、怒るに遅くするでしょう。その人は「真理の言葉」を覚えています。①自分の罪を謙虚に認め、②イエスの十字架上での死が自分の罰のためであったと認め、③神に従う力をくださいと頼むのです。それらの過程を通してその人は変わります。

ヤコブは言います。「このような人は、その行いによって幸いな者となるのです。」神の祝福がその人にあるのです。

(3) 清く汚れのない宗教

26節-27節「自分は宗教に熱心である(本当に神を礼拝している)と思っても、舌を制することをせず、自分の心を欺くならば、その人の宗教は空しいものです。みなしごや、やもめが困っているときに世話をし、世の汚れに染まることなく自分を守ること、これこそ父なる神の前に清く汚れのない宗教です。」

ヤコブによると、私たちが神を本当に礼拝するには、私たちが嫌な思いをさせられて、誰かに怒りを表現したくなったとしても、当時の人達にとっては貧しい境遇にある人たちへの他の人の態度のせいであったとしても、私たちにとっては他の何かに対してであったとしても、自分の舌を制しなさいと彼は言います。

「聞くに速く」、「語るに遅く」、「怒るに遅い」ようにしなさい。私たちのこころは「自分の欲望」と「罪」とで一杯で死に値します。イエスによってのみ私たちは赦されます。聖霊の力によってのみ私達はイエスに従うことができます。

だから神に私たちが変われるように願い求めましょう。私たちを怒らせる人に意識を向け続けるのをやめましょう。教会でもっと大きな必要がある人達を愛することを考えましょう。当時は社会福祉が足りなかったのでやもめや孤児が守るべき対象でした。私たちの場合は他の様々な必要がある人達でもあるかもしれません。

「怒り」にとらわれてしまうのではなくて「愛」にとらわれましょう。ヤコブは言います。「こうして神の民は礼拝するのです。これこそ本当の礼拝なのです」

誰かに対して「怒り」をもち、「批判的になっている」人がいるかもしれません。その「怒り」や「批判的な思い」は「礼拝したり」、「成長したり」することを妨げているかもしれません。ヤコブは言います。鏡をじっと見てください、「神の御言葉」をじっと見て、そこに自分の罪を見てください。そしてそのまま立ち去らないでください。「聞くに速く」あるようにしてください。

「真理の言葉」を覚えていてください。①謙虚に自分の罪を認め、②イエスがその罰のために死んだことを認め、③神に赦してくださいと願い求め、神に従う力をくださいと祈り求めましょう。

私達は私達を怒らせる人を愛するべきです。しかしもっと大切なのは、物質的、感情的、霊的に様々な必要がある兄弟姉妹を愛し、面倒を見て、励ますことです。あなたは誰かの面倒を見ていますか。それが本当の礼拝です。「神の民」として神を本当の意味で礼拝しようではありませんか。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 2018

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg412jp

★クラス 101
メンバーシップクラス
11 月 27 日（日）13：00～17：00
https://t-b-c.us/classes

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu

奉仕者募集中！

1．週末礼拝メッセージ翻訳者
1か月半に1度くらいのペース
自宅での作業になります。
英語を日本語へ翻訳します。

2．日本語字幕オペレーター
月 1 回～各礼拝の時間（特に 3 時、5 時の礼拝募集）の字幕のページをめくる奉仕です。英語を聞いて日本語がどの翻訳部分かわかる程度の英語力が必要です。操作は矢印キーを押すだけの簡単なものです。

3．日本語字幕作成/オペレーター
月 1 回～土曜日 16 時～
プロプレゼンターというソフトで翻訳された原稿を字幕に落とします。操作は簡単で1回のトレーニングで作成できるようになります。作成に1時間くらいかかります。その後 19 時からの字幕オペレーターもお願いします。

4．日本語レイアウト&印刷（女性募集）
月 1 回～土曜日 16 時～
TBC に来て作業します。この今見ている紙を作成してもらう作業です。ひな形に翻訳された原稿を入れて、読みやすくレイアウトし、印刷してもらいます。MS WORD が使える女性を募集しています。英語力不要

連絡先（ひろみ）：
hiromik@tokyobaptist.org